

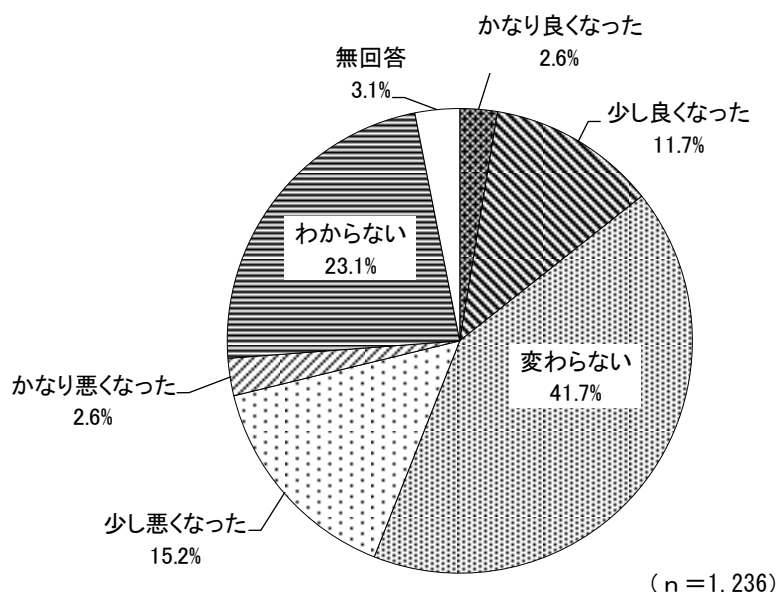
18 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況の変化

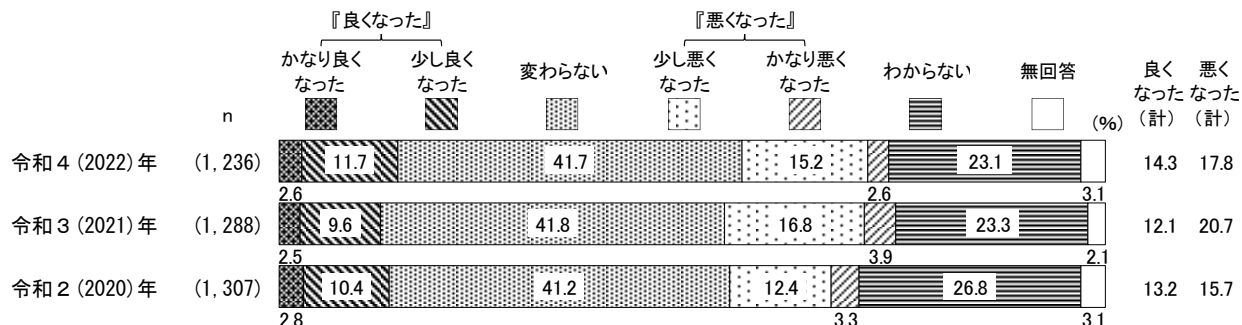
問51 県内の治安は、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,236]

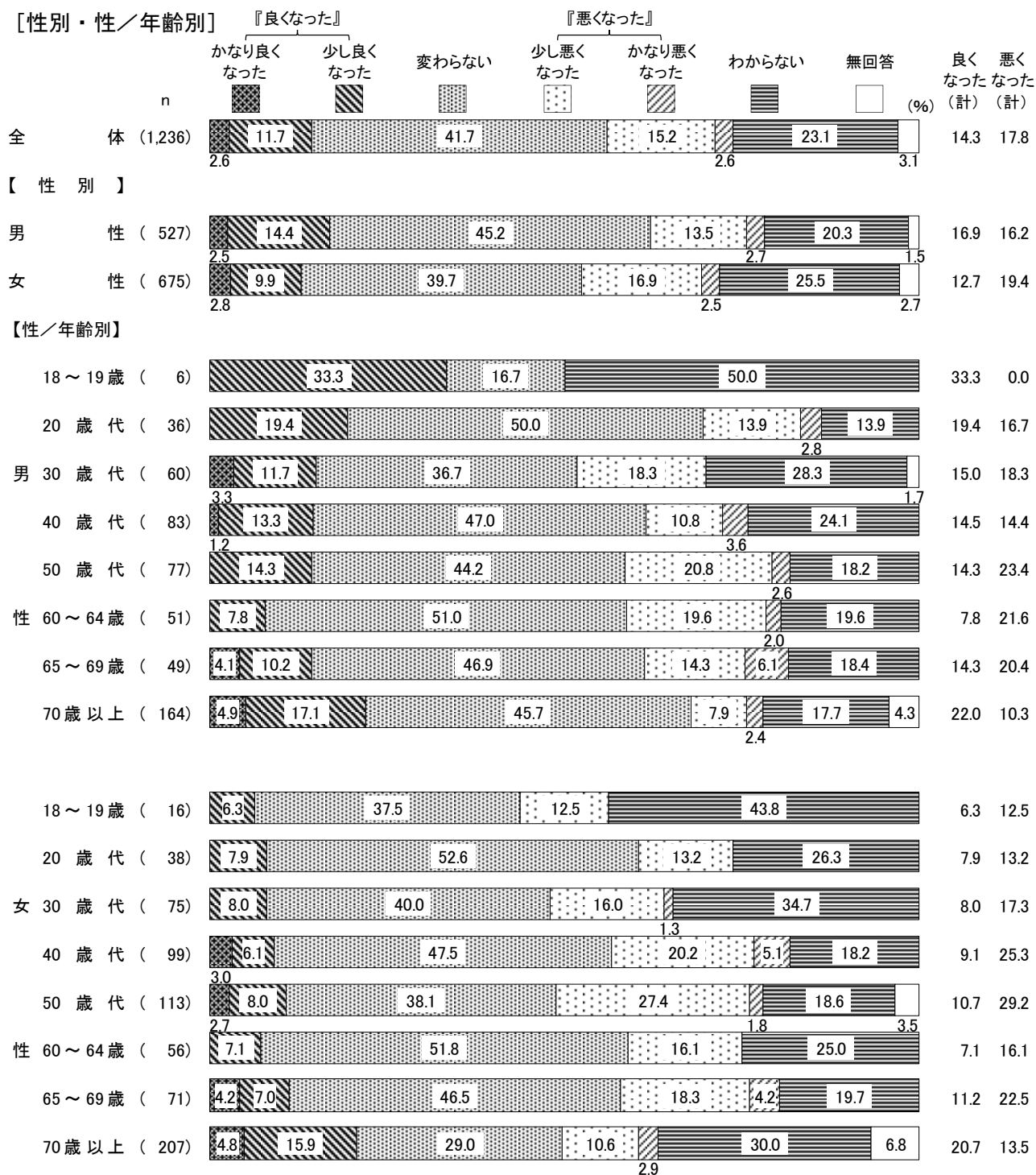
1	かなり良くなった	2.6%	4	少し悪くなった	15.2%
2	少し良くなった	11.7%	5	かなり悪くなった	2.6%
3	変わらない	41.7%	6	わからない	23.1%
				(無回答)	3.1%



全体でみると、「かなり良くなった」(2.6%)と「少し良くなった」(11.7%)の2つを合わせた『良くなった』(14.3%)は1割台半ば近くとなっている。一方、「少し悪くなった」(15.2%)と「かなり悪くなった」(2.6%)の2つを合わせた『悪くなった』(17.8%)は1割台半ばを超えている。また、「変わらない」(41.7%)は4割強となっている。



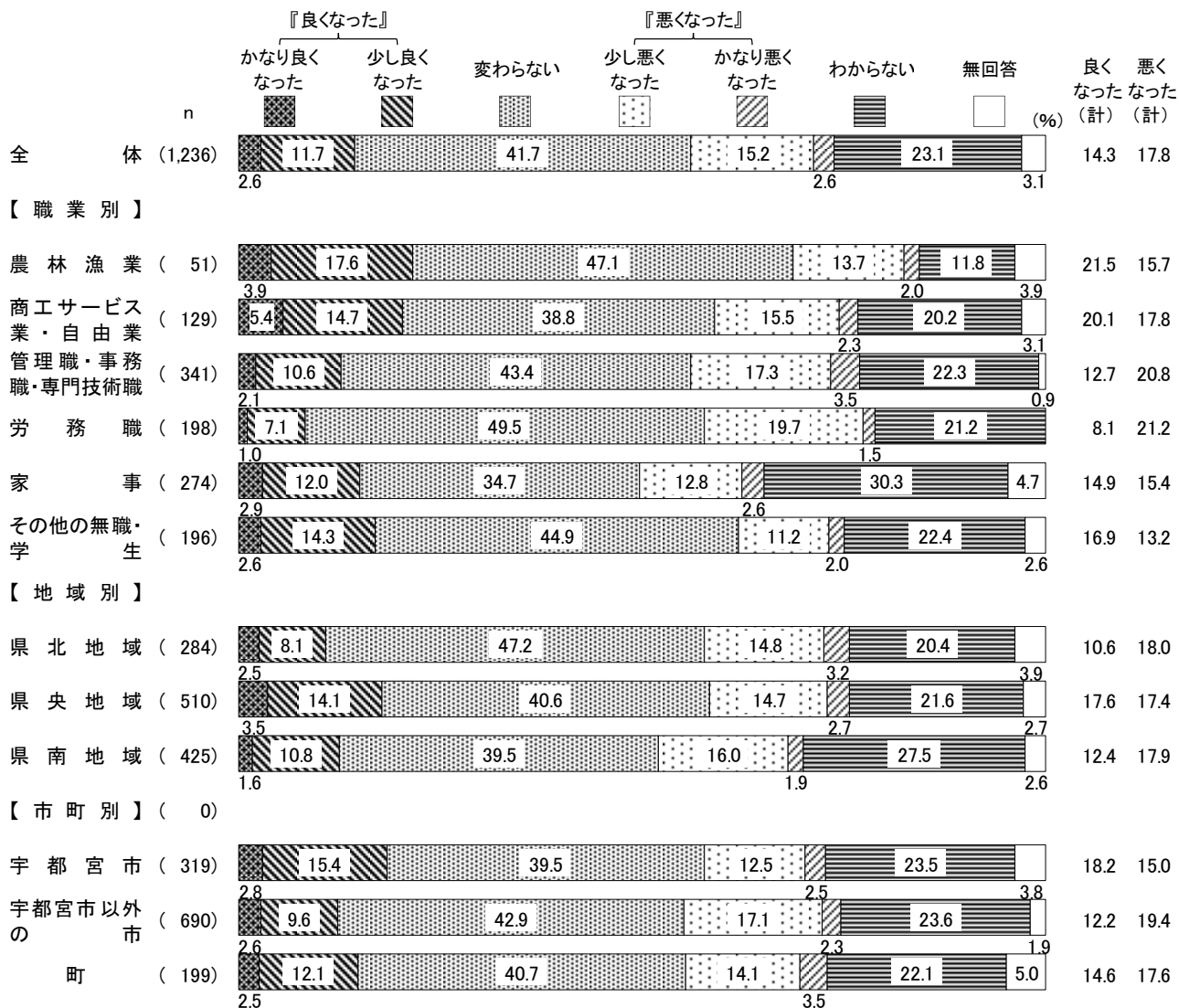
過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が前回(令和3(2021)年)より2.9ポイント減少している。



性別で見ると、『良くなった』では〈男性〉(16.9%)が〈女性〉(12.7%)より4.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『良くなった』では〈男性70歳以上〉が22.0%、〈女性70歳以上〉が20.7%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性50歳代〉が29.2%と高くなっている。

【職業別・地域別・市町別】



職業別で見ると、『良くなった』では〈農林漁業〉が21.5%で最も高くなっている。

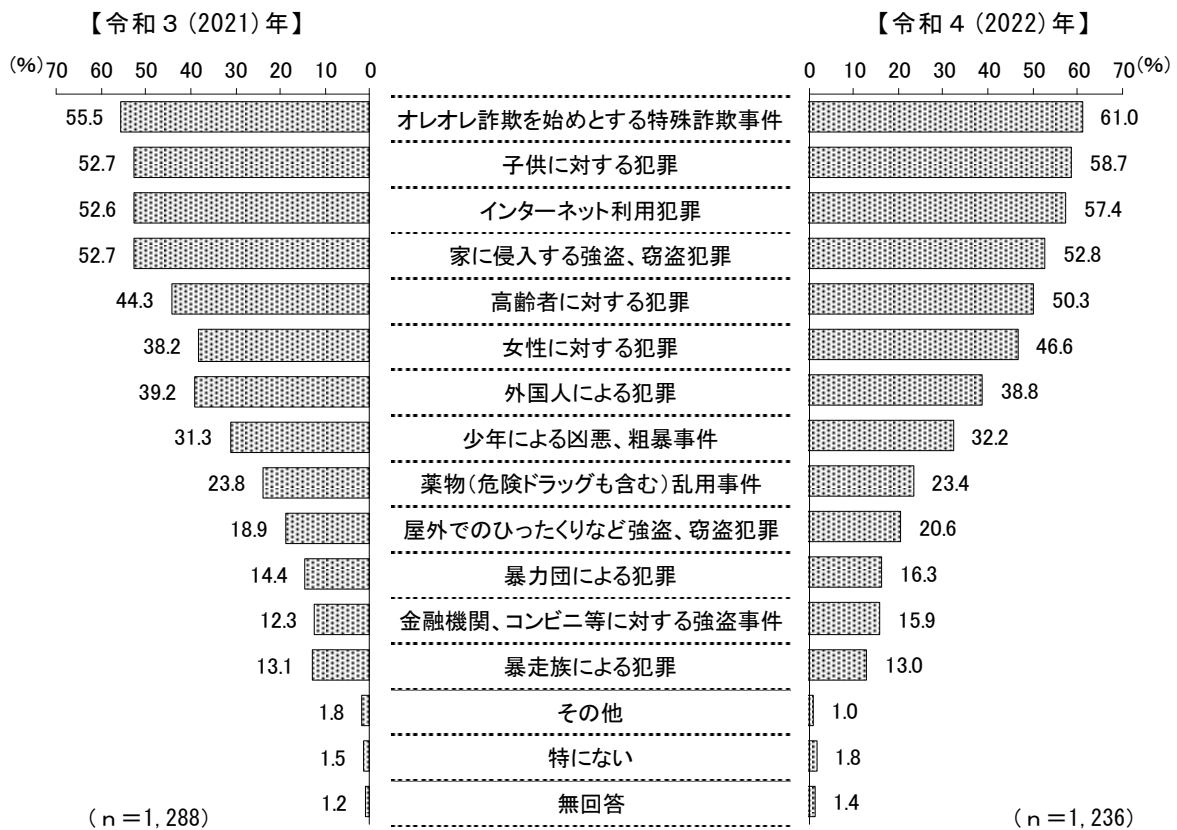
地域別で見ると、『良くなった』では〈県央地域〉が17.6%で最も高く、市町別で見ると、〈宇都宮市〉が18.2%で最も高くなっている。

(2) 不安を感じる犯罪

問52 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

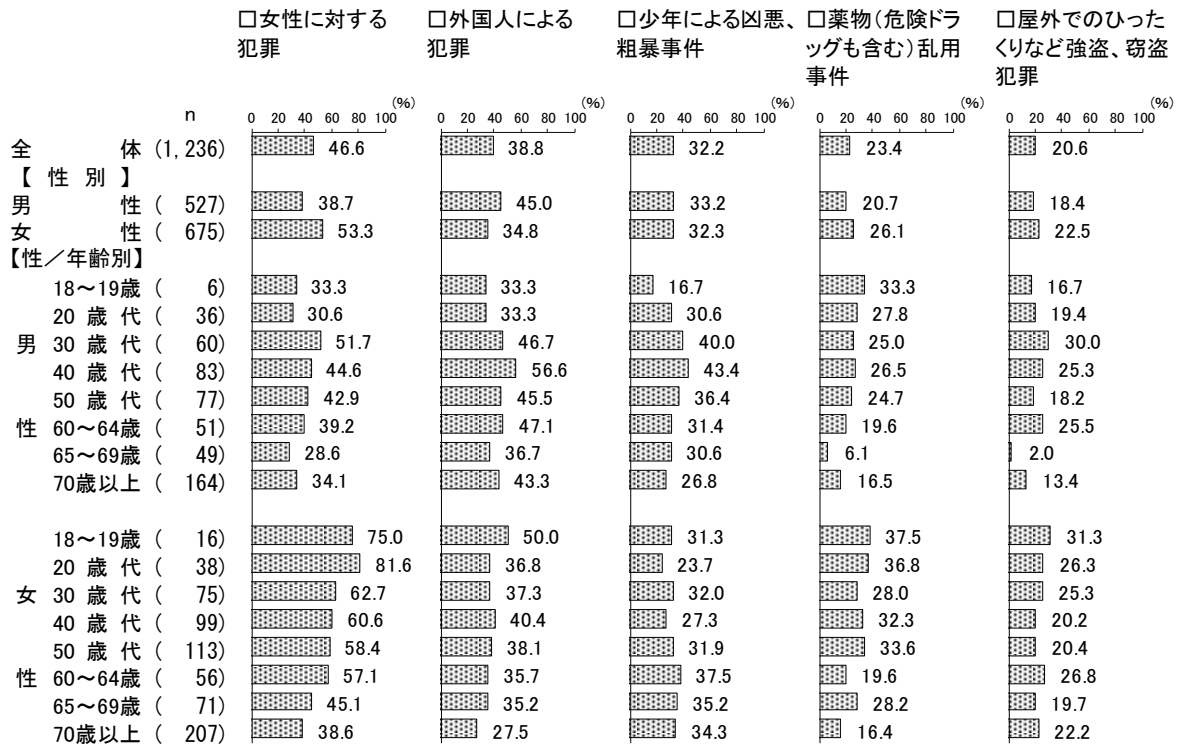
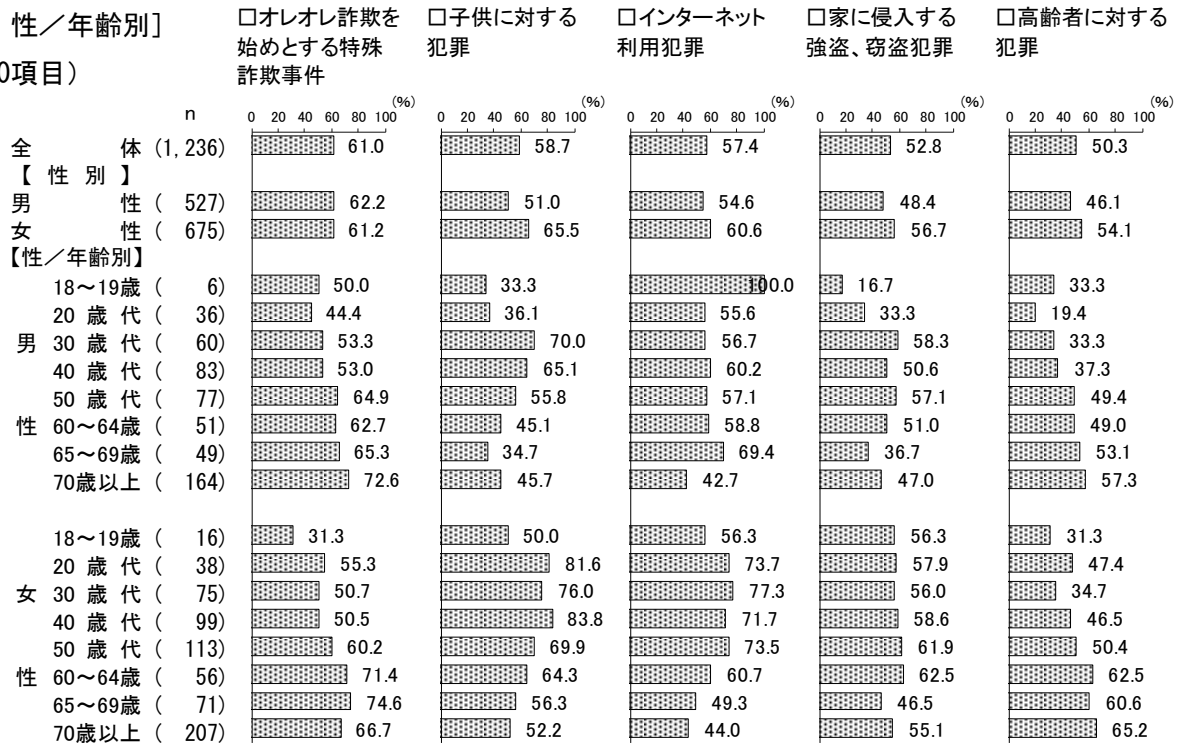
1	子供に対する犯罪	58.7%	8	暴力団による犯罪	16.3%
2	女性に対する犯罪	46.6	9	暴走族による犯罪	13.0
3	高齢者に対する犯罪	50.3	10	家に侵入する強盗、窃盗犯罪	52.8
4	オレオレ詐欺を始めとする 特殊詐欺事件	61.0	11	屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪	20.6
5	金融機関、コンビニ等に対する 強盗事件	15.9	12	薬物(危険ドラッグも含む)乱用事件	23.4
6	少年による凶悪、粗暴事件	32.2	13	インターネット利用犯罪	57.4
7	外国人による犯罪	38.8	14	その他	1.0
			15	特にない	1.8
				(無回答)	1.4



全体で見ると、「オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件」(61.0%)が6割強で最も高く、次いで「子供に対する犯罪」(58.7%)、「インターネット利用犯罪」(57.4%)、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」(52.8%)、「高齢者に対する犯罪」(50.3%)の順となっている。

前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、「女性に対する犯罪」が8.4ポイント、「子供に対する犯罪」が6.0ポイント、「高齢者に対する犯罪」が6.0ポイント、「オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件」が5.5ポイント、それぞれ増加している。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)



性別でみると、「女性に対する犯罪」では〈女性〉(53.3%)が〈男性〉(38.7%)より14.6ポイント高くなっている。また、「子供に対する犯罪」では〈女性〉(65.5%)が〈男性〉(51.0%)より14.5ポイント高くなっている。一方、「外国人による犯罪」では〈男性〉(45.0%)が〈女性〉(34.8%)より10.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「子供に対する犯罪」では〈女性40歳代〉が83.8%、〈女性20歳代〉が81.6%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈女性30歳代〉が77.3%、〈女性20歳代〉が73.7%、〈女性50歳代〉が73.5%と高くなっている。「女性に対する犯罪」では、〈女性20歳代〉が81.6%と高くなっている。「外国人による犯罪」では〈男性40歳代〉が56.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)

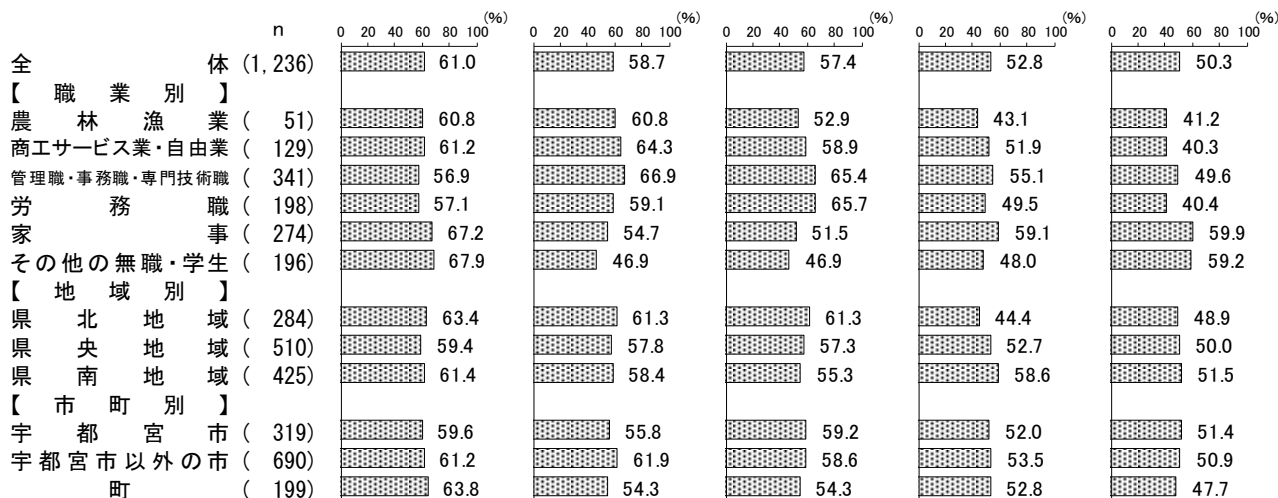
□オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件

□子供に対する犯罪

□インターネット利用犯罪

□家に侵入する強盗、窃盗犯罪

□高齢者に対する犯罪



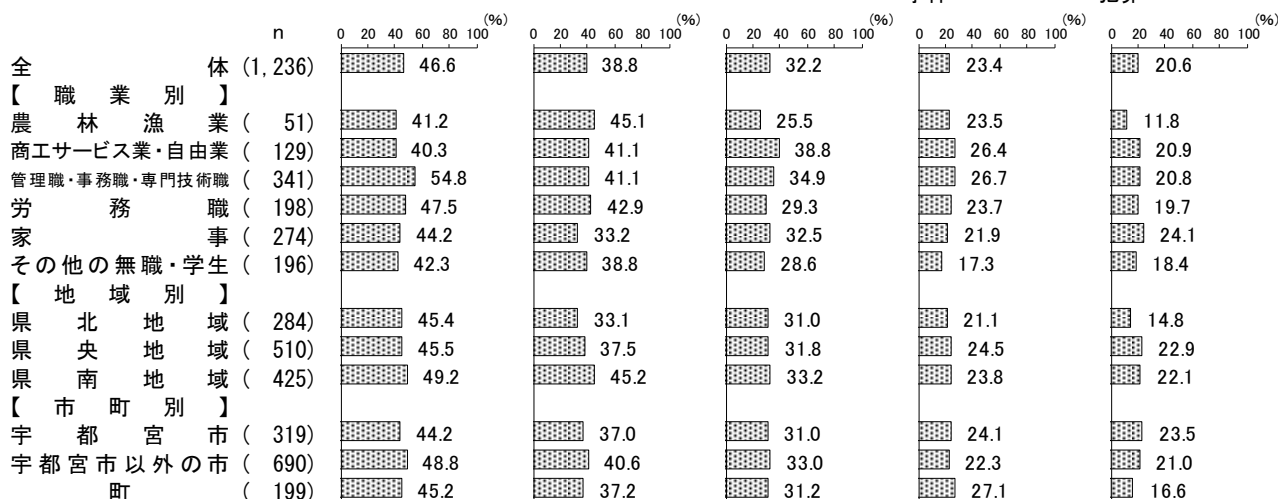
□女性に対する犯罪

□外国人による犯罪

□少年による凶悪、粗暴事件

□薬物(危険ドラッグも含む)乱用事件

□屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪



職業別でみると、「子供に対する犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が66.9%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈労務職〉が65.7%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が65.4%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈家事〉が59.9%、〈その他の無職・学生〉が59.2%と高くなっている。「女性に対する犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が54.8%と高くなっている。

地域別でみると、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」では〈県南地域〉が58.6%と高くなっている。「外国人による犯罪」では〈県南地域〉が45.2%と高くなっている。

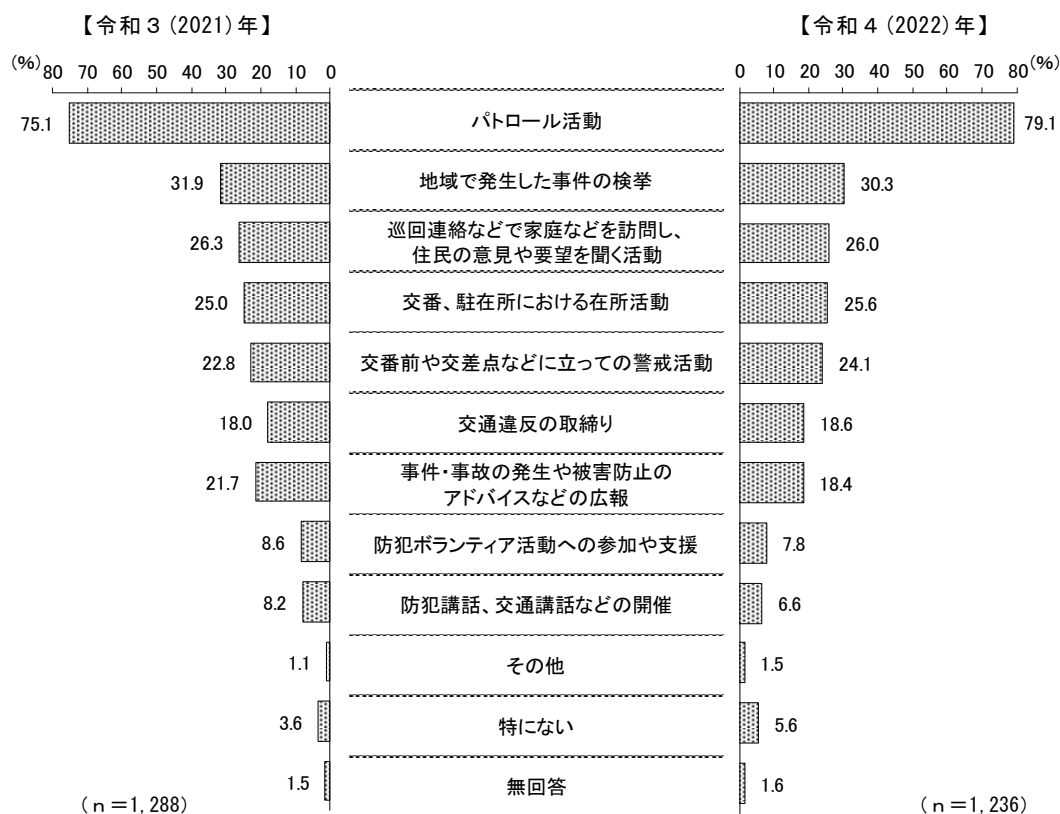
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 警察官に力を入れてほしい活動

問53 あなたが、交番や駐在所の警察官に特に力を入れてほしい活動は何ですか。次の中からいくつかでも選んでください。

[n=1,236]

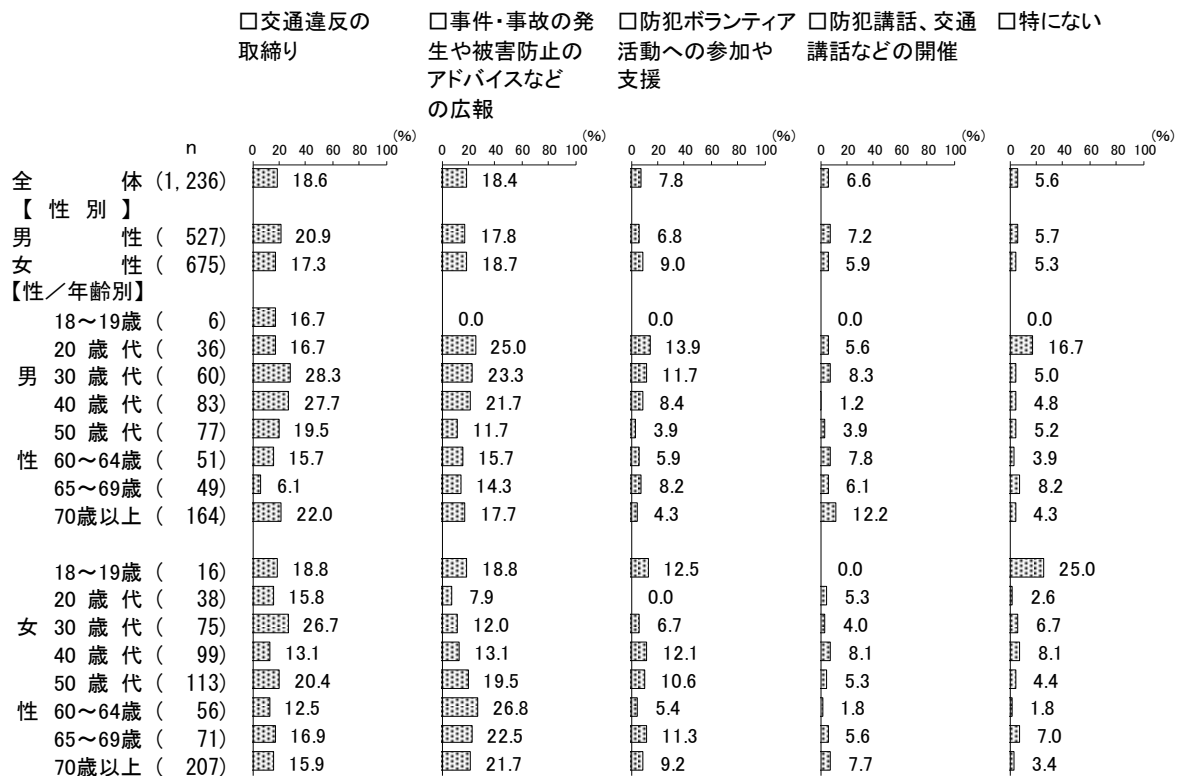
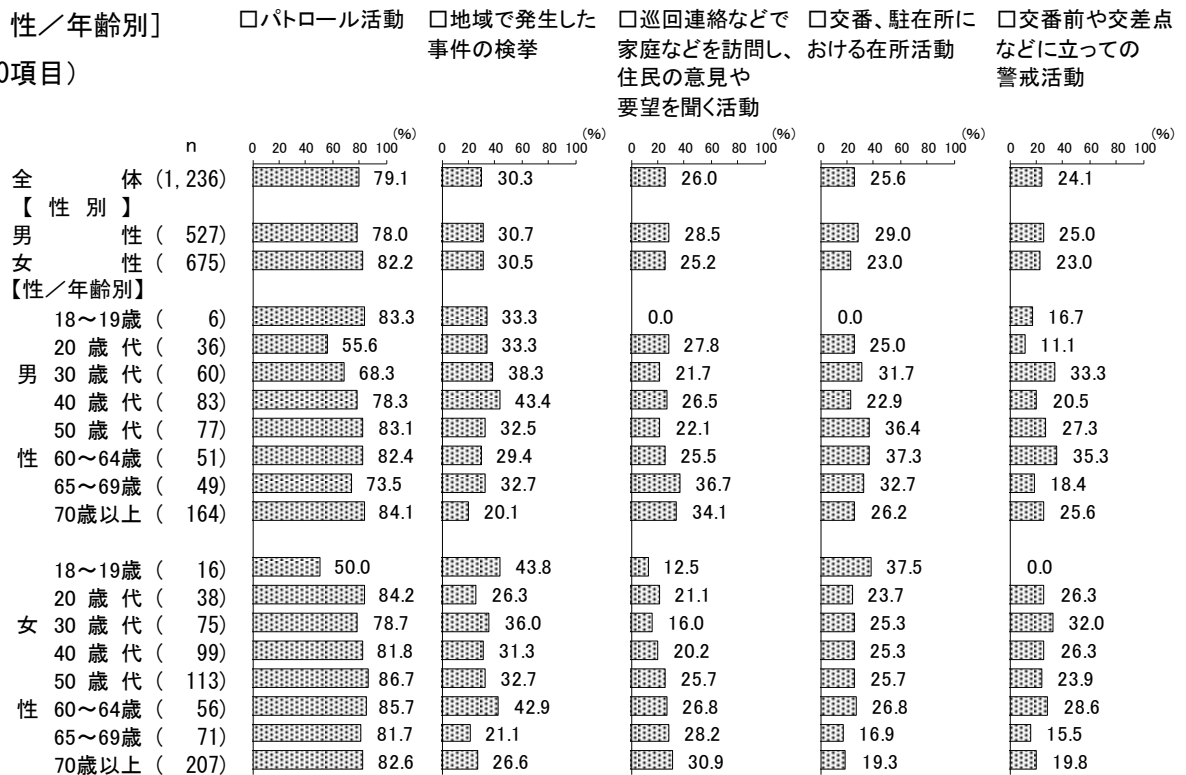
1	パトロール活動	79.1%
2	交番、駐在所における在所活動	25.6
3	巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動	26.0
4	交番前や交差点などに立っての警戒活動	24.1
5	事件・事故の発生や被害防止のアドバイスなどの広報	18.4
6	地域で発生した事件の検挙	30.3
7	交通違反の取締り	18.6
8	防犯講話、交通講話などの開催	6.6
9	防犯ボランティア活動への参加や支援	7.8
10	その他	1.5
11	特にない	5.6
	(無回答)	1.6



全体でみると、「パトロール活動」(79.1%)が8割弱で最も高くなっている。以下「地域で発生した事件の検挙」(30.3%)、「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」(26.0%)、「交番、駐在所における在所活動」(25.6%)、「交番前や交差点などに立っての警戒活動」(24.1%)の順となっている。

前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、「パトロール活動」が4.0ポイント増加している。一方、「事件・事故の発生や被害防止のアドバイスなどの広報」が3.3ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

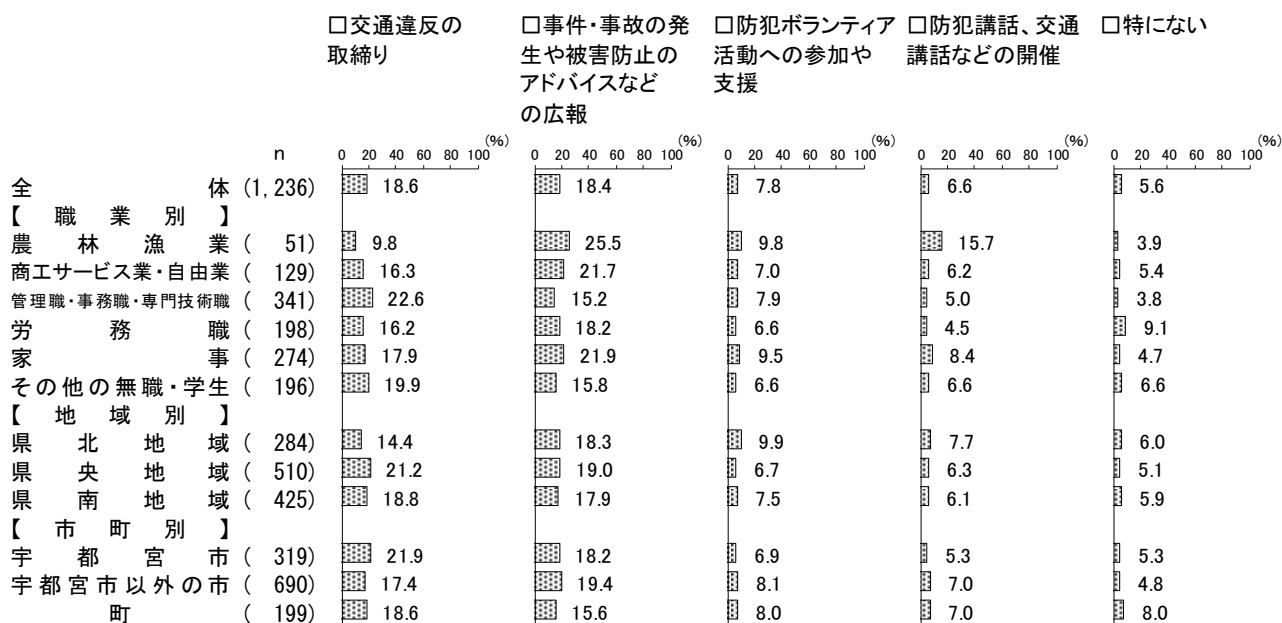
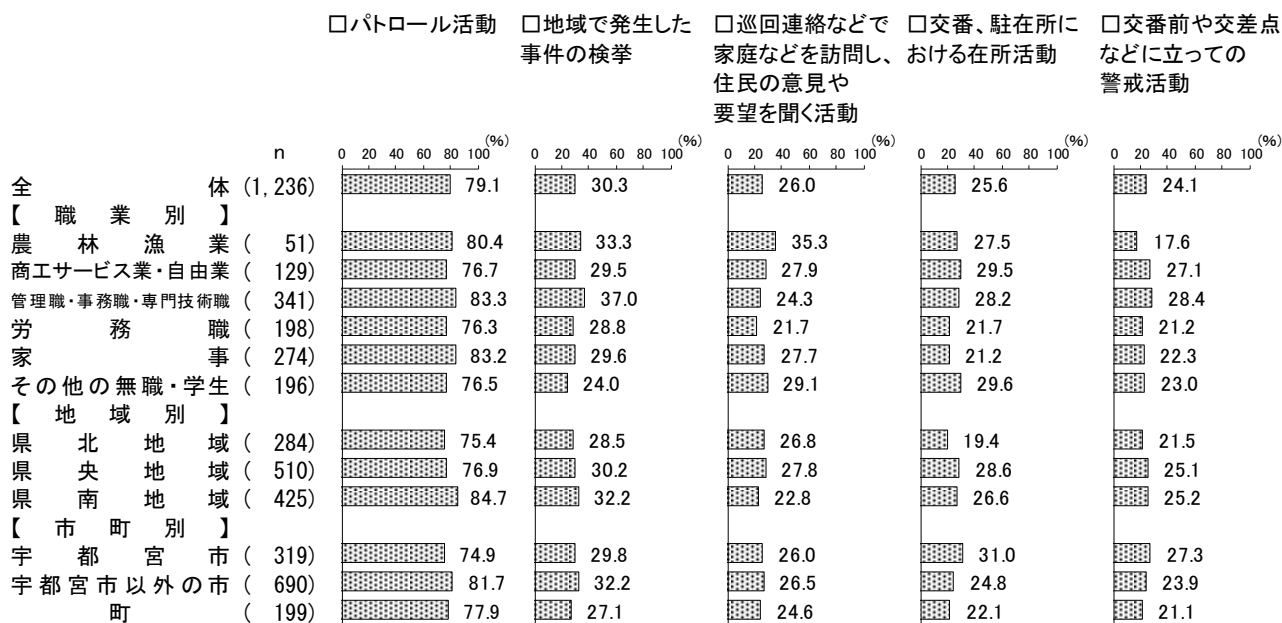


性別で見ると、「交番、駐在所における在所活動」では〈男性〉(29.0%)が〈女性〉(23.0%)より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「地域で発生した事件の検挙」では〈男性40歳代〉が43.4%、〈女性60～64歳〉が42.9%と高くなっている。「交番、駐在所における在所活動」では〈男性60～64歳〉が37.3%、〈男性50歳代〉が36.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」では〈農林漁業〉が35.3%と高くなっている。また、「防犯講話、交通講話などの開催」では〈農林漁業〉が15.7%と高くなっている。

地域別でみると、「パトロール活動」では〈県南地域〉が84.7%と高くなっている。

市町別でみると、「交番、駐在所における在所活動」では〈宇都宮市〉が31.0%と高くなっている。